

多文化共生・男女共同参画



国際交流協会

目指す姿

一人ひとりが尊重され、多様な個性と能力を発揮するとともに、多文化共生や男女共同参画意識が浸透しているまち

人権を尊重し、誰もが生きがいと誇りを持ち、自分らしく生きられる社会づくりを推進します。また、増加する在住外国人との多文化共生社会の実現に向け、市民意識の醸成を図ります。さらに、男女が等しく活躍できるよう女性の参画機会の確保を図るとともに、誰もが安心して生活できる環境づくりを推進します。

成果指標

指標	R6基準	R12目標	担当課
米沢市国際交流協会会員数	466人	600人	魅力推進課
審議会・委員会の女性登用率	33.2%	40%以上 60%以下	地域振興課
くるみん認定・えるぼし認定※等を受けている事業者数	6	11	地域振興課 商工課

主な個別計画・方針等

○第2次男女共同参画基本計画

市民等からの意見・提案

- 外国人の増加への理解を図ってほしい。
- 一人ひとりの自覚を促してほしい。

目指す姿に近づくために市民・事業者・団体等に期待したい行動

- 市民等は国籍、性別、年齢、障がい等の差別をせず互いに認め合うよう努めましょう。
- 事業者・団体等は多様性を尊重し、誰もが活躍できる社会の実現に向けた取組を進めましょう。

施策の柱と主な取組

1 多文化共生の推進 担当課 魅力推進課

- 地域社会における国際理解を醸成するため、米沢市国際交流協会の体制を強化し、国際化に対応できる人材を育成します。
- 米沢市国際交流協会と連携した各種交流イベント等を通じて、国際交流を図るほか、本市転入外国人に配付している生活ガイドブックの多言語化、米沢市国際交流協会の外国人相談窓口、日本語教室等を通じて、外国人が暮らしやすいまちづくりに取り組みます。

2 男女共同参画と女性活躍の推進 担当課 地域振興課、こども家庭課、健康課、商工課

- 審議会等への女性の積極的な参画推進、女性リーダー育成、意識啓発等により、女性があらゆる分野に参画する機会を確保します。
- ジェンダー・ギャップ※の解消のため、性別による固定的な役割分担意識やアンコンシャス・バイアス※の解消に向けて取り組みます。
- LGBTQ※等の多様な性のあり方の理解を促進するとともに、県パートナーシップ宣誓制度を周知します。
- 企業等における多様な働き方、ワーク・ライフ・バランス※を促進するとともに、性別や年齢に関わらず活躍できる職場環境づくりを支援します。
- 女性に特有の妊娠・出産に係る相談やがん検診の普及啓発等、生涯を通じた女性の健康を支援します。
- DV※や家庭内の問題等、様々な悩みに対する相談受付と関係機関との連携を通じて、一人ひとりの人権が尊重され、安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。

※ くるみん認定・えるぼし認定：くるみんは仕事と子育ての両立を支援する企業を国が認定する制度。えるぼしは女性の活躍を推進する企業を国が認定する制度。

※ ジェンダー・ギャップ：男女間の社会的・経済的な格差。

※ アンコンシャス・バイアス：性別による固定観念、年齢による偏見、職業に関する思い込み等の無意識の思い込み。

※ LGBTQ（エルジーピーティーキュー）：レズビアン（L）、ゲイ（G）、バイセクシュアル（B）、トランスジェンダー（T）、クィア（Q）の頭文字を取った言葉で、性的指向や性自認の多様性を表す。

※ ワーク・ライフ・バランス：仕事と生活の調和。

※ DV（ディーブイ）：ドメスティック・バイオレンスの略称で、配偶者や恋人等の親密な関係にある（あった）者から振るわれる暴力。